

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス  
キッズホームヤマニ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

2月

17日

法人（事業所）理念		〈子どもたちの得意を伸ばす〉 自分のよい所を見つけ、伸ばしていくことで将来の自立へサポートします。 〈子どもたちの自尊心を育てる〉 様々な活動を通して「自分でできた」という達成感から自尊心を育てます。いのちをいただくことの大切さを伝えます。 〈安心できる場作り〉 スタッフのチームワークをよくし、常に風通しのよい明るい環境を作ります。							
支援方針		〈子どもたちと未来を創る〉 子どもたちの気持ちとご家族の願いに寄り添って、心とからだを育てます。							
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○子どもの心と身体に関するアセスメントをしっかりと行い、活動中の表情や様子を常に観察して配慮をした関わりを持ちます。 ○基本的な生活習慣（あいさつ、衣服の着脱、トイレの使いかたなど）を獲得できるようサポートします。 ○障がい特性に配慮し、スケジュール、時間、空間を本人に分かりやすいように構造化します。							
	運動・感覚	○自分で選択ができ、発想豊かに物や道具に触れる活動を提供します。日常生活で使用するはさみ・のり・はし等の道具に触れ、手先の感覚とともに使い方や危険性なども認識できるようにルールの提示を行います。 ○製作活動を通して、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう様々な体験を提供し支援します。 ○微細運動や粗大運動を通して、身体の使い方が向上するように支援します。							
	認知・行動	○色や数字、物などの様々な概念獲得に向け、子どもの特性や能力を観察し、課題の提供を行います。 ○子どもの認知の特性について理解を深め、認知の偏りへの気づきや適切な対応に結びつけていけるように支援します。 ○製作活動を通して、各感覚を刺激し興味の幅を広げることができるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	○子どもの特性に応じた課題を設定し、言葉の理解や表出が豊かになるように支援します。 ○具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得や自発的な発声を促す支援を行います。 ○一人ひとりの発達段階に応じたコミュニケーション手段を尊重し、安心して意思伝達ができるように支援します。							
	人間関係 社会性	○他者との人間関係を築いたり、集団に参加するために必要な力を身につけられるように支援します。 ○人と関わるうえでのマナーや集団・公共の場での振る舞い方を身につけるなど、状況に応じて必要なサポートを行います。 ○ルールや順番を守ることや協調した関わりを持てるように支援します。							
家族支援		○サービス提供記録、送迎時の会話等で随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や見学する機会を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。 ○子どもの特性理解を深め、保護者同士の交流や保護者・支援者間の情報共有を目的とした保護者学習会を開催します。				移行支援		○登園する園や就学する学校、関連の医療・相談支援事業所・他事業所と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。	
地域支援・地域連携		○地域の方からの信頼を得られるように支援の向上に努めます。 ○各関係機関と連携を強化し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援します。				職員の質の向上		○事業所内研修や外部研修に参加し、職員のスキルアップに努めます。	
主な行事等		○季節の行事 ○近隣施設・公園へのお出かけ							